



2019年11月22日

各 位

会 社 名 関東電化工業株式会社  
代表者名 代表取締役社長 長谷川淳一  
 (コード番号 4047 東証第1部)  
問合せ先 法務・総務部マネージャー 上原佳浩  
 (TEL. 03 - 3257 - 0371)

### 2020年3月期 第2四半期決算説明会資料

当社では、本日11月22日、機関投資家・証券アナリスト向けに2020年3月期 第2四半期決算説明会を開催いたします。

2020年3月期 第2四半期決算の概要、今後の業績見通しについて説明いたしますが、その資料を添付いたします。

以 上

# 2020年3月期 第2四半期決算説明会

---

 関東電化工業株式会社  
2019年11月22日

## 説明内容

---

1. 2020年3月期 第2四半期決算の概要
2. 業績の見通し・今後の動向

※増減率を除き、表示単位未満は切り捨てて表示

## 事業セグメント

名 称		内 容
基礎化学品 事業	無機製品	か性ソーダ、塩酸、次亜塩素酸ソーダ、塩化アルミニウム等
	有機製品	トリクロールエチレン、パークロールエチレン、塩化ビニリデン、シクロヘキサノール等
精密化学品 事業	フッ素系製品	六フッ化硫黄、四フッ化炭素、三フッ化メタン、六フッ化エタン、三フッ化窒素、ヘキサフルオロ-1,3-ブタジエン、八フッ化プロパン、六フッ化タングステン、四フッ化ケイ素、三フッ化塩素、八フッ化シクロブタン、モノフルオロメタン、硫化カルボニル、五フッ化ヨウ素、六フッ化リン酸リチウム、ホウフッ化リチウム等
鉄系事業	鉄系製品	キャリアー、マグネタイト、顔料、鉄酸化物等
商事事業	関電興産(株)	化学工業薬品の販売および容器整備、保険代理店業務等
設備事業	(株)上備製作所	工場プラント建設、工場設備保全工事等

関東電化工業株式会社

3

## 関東電化グループ（連結子会社）

(単位：百万円)

	資本金	出資 比率%	2019年上期 売上高	対前期比	主要な事業内容
関電興産（株）	10	100.0	3,579	312	化学工業薬品の販売および容器整備、 保険代理店
(株)上備製作所	120	49.4	3,277	600	化学工業用設備の製作・加工・修理
森下并柄工業（株）	27	99.3	371	△7	鉄酸化物の製造販売
関東電化KOREA（株）	3億ウォン	90.0	5,551	△486	フッ素系製品の販売
台湾関東電化股份有限 公司	7百万NTドル	100.0	2,432	△165	フッ素系製品の販売
関東電化ファインプロダク ツ韓国（株）	215億ウォン	100.0	—	—	フッ素系製品の製造・販売
		<b>合計</b>	<b>15,212</b>	<b>254</b>	

関東電化工業株式会社

4

## 連結決算のポイント

(単位：億円)

	2018/9	2019/9	差額
売上高	264	270	6
営業利益	49	40	△9
純利益※	36	25	△11

※親会社株主に帰属する四半期純利益

### 【売上高】 (+6億円)

- ・基礎化学品事業は、販売数量の増加と価格修正効果により増収 (+0.9億円)
- ・精密化学品事業は、販売数量の増加により増収 (+4.6億円)
- ・鉄系事業 (△0.1億円)、商事事業 (△0.2億円)、設備事業 (+1.1億円)

### 【営業利益】 (△9億円)

- 基礎化学品事業 (△0.7億円)、精密化学品事業 (△10.6億円)
- 鉄系事業 (△0.3億円)、商事事業 (+0.1億円)、設備事業 (+1.7億円)

## 基礎化学品事業部門

(単位：億円)

	2018/9	2019/9	差額
売上高	32	33	0.9
営業利益	0.9	0.1	△0.7

### 【売上高】

- ・か性ソーダ・・・販売数量は減少したものの価格修正効果により増収
- ・塩酸・・・販売数量の減少により減収
- ・トリクロールエチレン・・・販売数量の増加により増収
- ・パークロールエチレン・・・販売数量の減少により減収

### 【営業利益】

- ・原材料価格の上昇と固定費の増加により減益

## 精密化学品事業部門

(単位：億円)

	2018/9	2019/9	差額
売上高	195	199	4
営業利益	44	33	△10

### 【売上高】

- ・三フッ化窒素・・・販売数量の減少により減収
- ・六フッ化タングステン・・・販売数量の減少と販売価格の低下により減収
- ・ヘキサフルオロ-1,3-ブタジエン・・・販売数量の増加により増収
- ・六フッ化リン酸リチウム・・・販売数量の増加により増収

### 【営業利益】

- ・増収効果はあるものの、固定費の増加等により減益

## 鉄系・商事・設備事業部門

(単位：億円)

	2018/9	2019/9	差額
売上高	36	37	0
営業利益	4	6	2

### 【鉄系事業】

キャリアーおよび鉄酸化物の販売減少により減収

### 【商事事業】

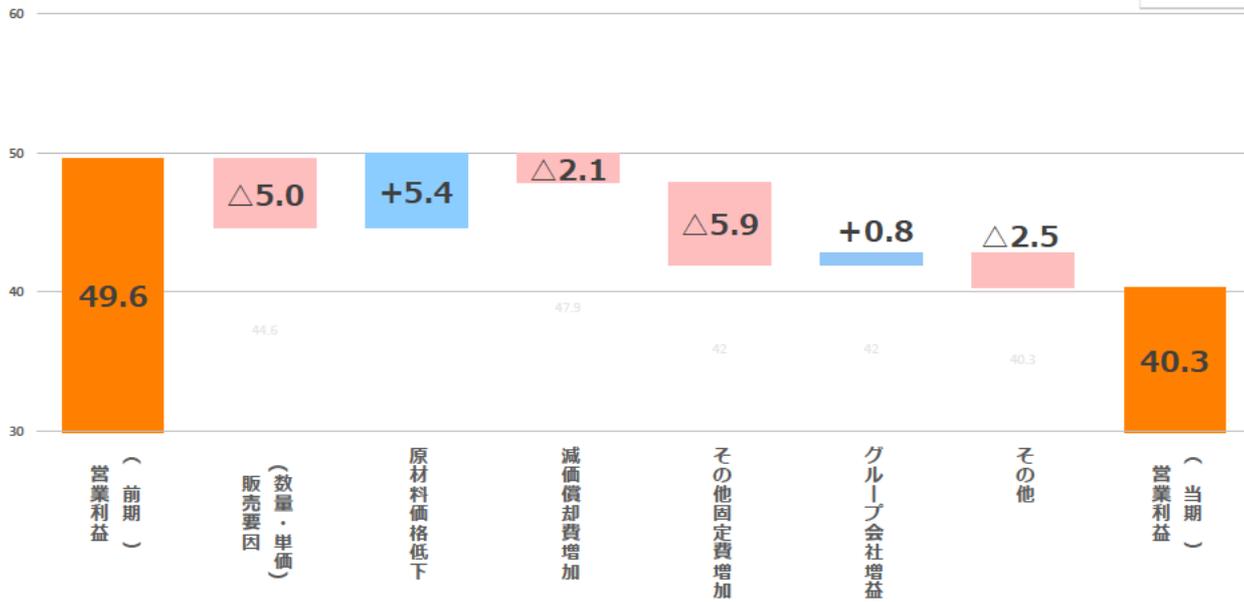
連結子会社である関電興産の化学工業薬品の販売減少により減収

### 【設備事業】

連結子会社である上備製作所の請負工事増加により増収

# 連結営業利益差異分析(2018/9 対 2019/9)

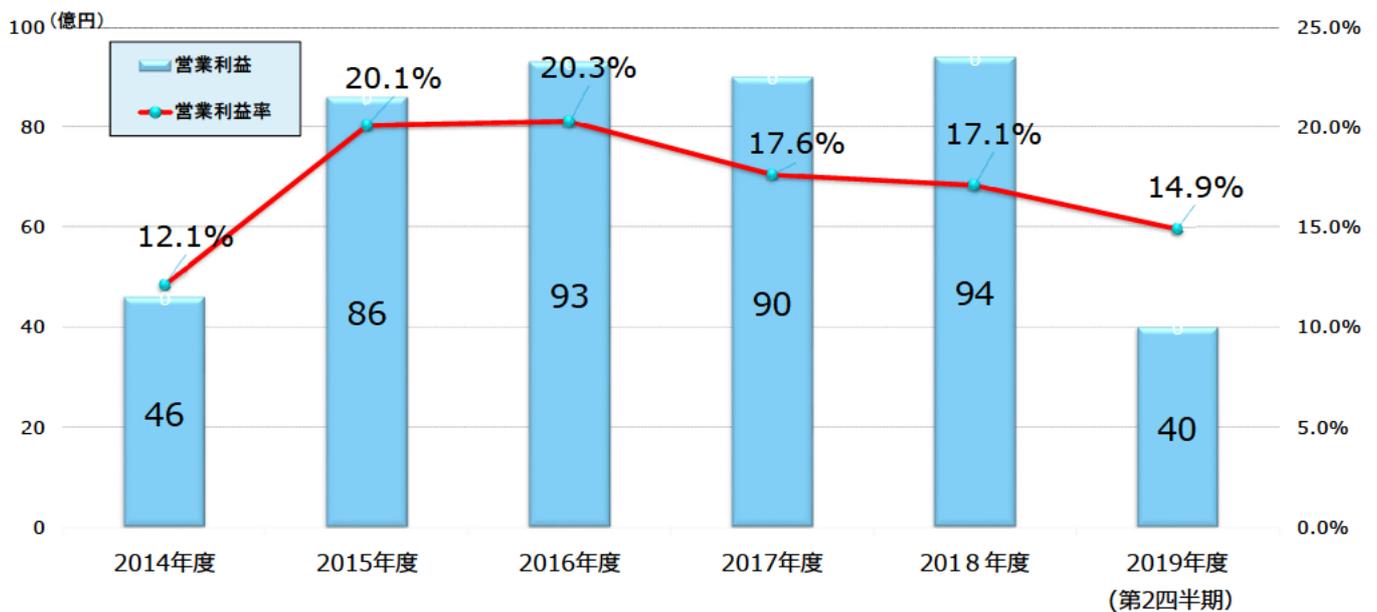
(単位：億円)



関東電化工業株式会社

9

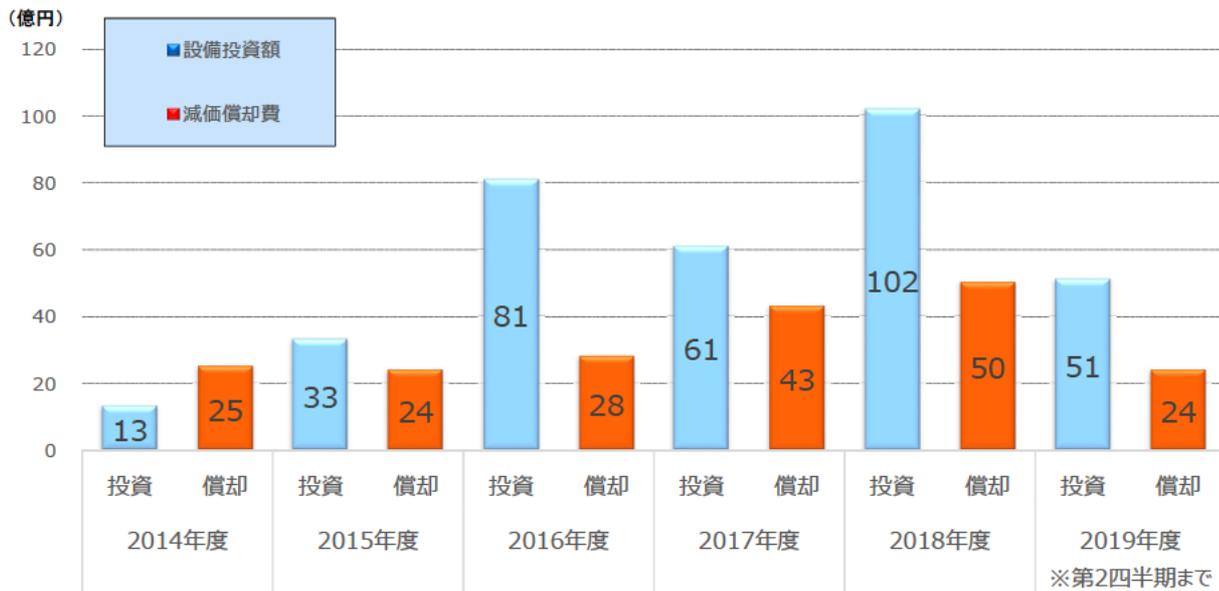
# 営業利益と営業利益率の推移 (連結)



関東電化工業株式会社

10

## 設備投資・減価償却費の推移（連結）



## 有利子負債・自己資本比率の推移（連結）



# 説明内容

## 1. 2020年3月期 第2四半期決算の概要

## 2. 業績の見通し・今後の動向

※増減率を除き、表示単位未満は切り捨てて表示

## セグメント別業績予想（連結）

(単位：億円)

	売上高			営業利益		
	2019/3 実績	2020/3 当初見込	2020/3 見直し後見込	2019/3 実績	2020/3 当初見込	2020/3 見直し後見込
基礎	68	65	67	2	2	2.5
精密	414	409	407	83	48	59
その他※	69	69	71	8	6	9.5
合計	552	543	545	94	56	71
設備投資費	102	121	134	【業績予想前提】 為替レート：110円/\$		
減価償却費	50	64	59	※その他には、鉄系事業、商事事業、設備事業および 連結調整を含みます。		
研究開発費	12	13	13			

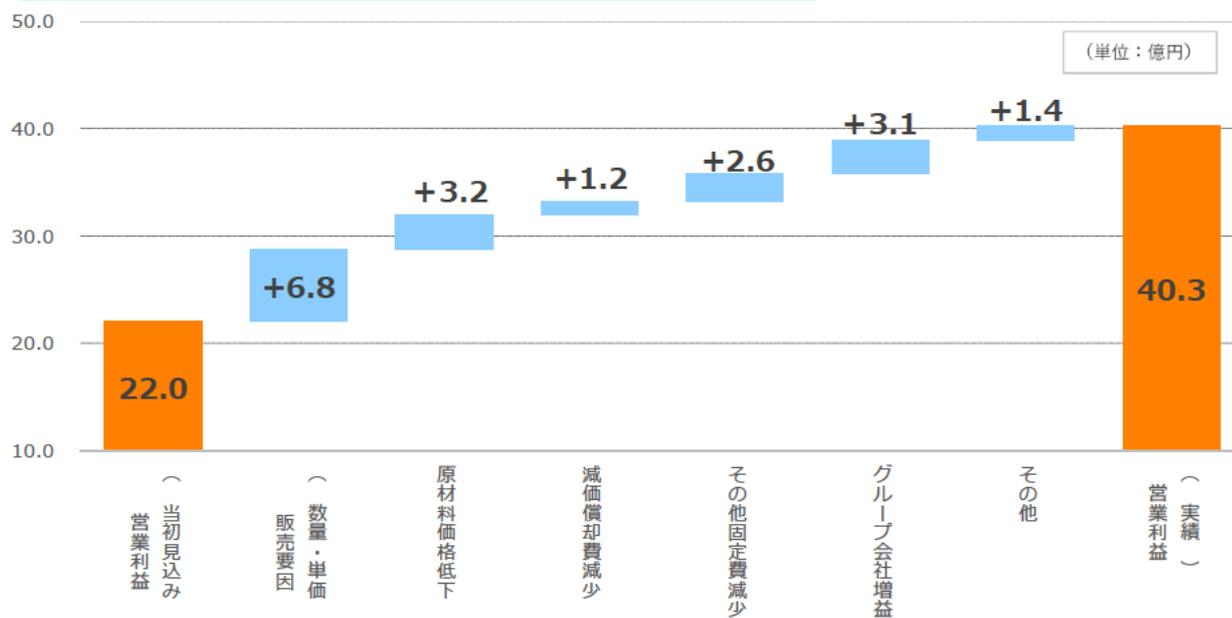
## セグメント別業績予想（連結） 上期予想と実績の差

(単位：億円)

	売上高			営業利益		
	上期見込み	上期実績	差額	上期見込み	上期実績	差額
基礎	31	33	2	0	0	0
精密	192	199	7	19	33	14
その他※	35	37	2	3	6	3
合計	258	270	12	22	40	18

※その他には、鉄系事業、商事事業、設備事業および連結調整を含みます。

## 連結営業利益差異分析(上期当初見込み 対 上期実績)



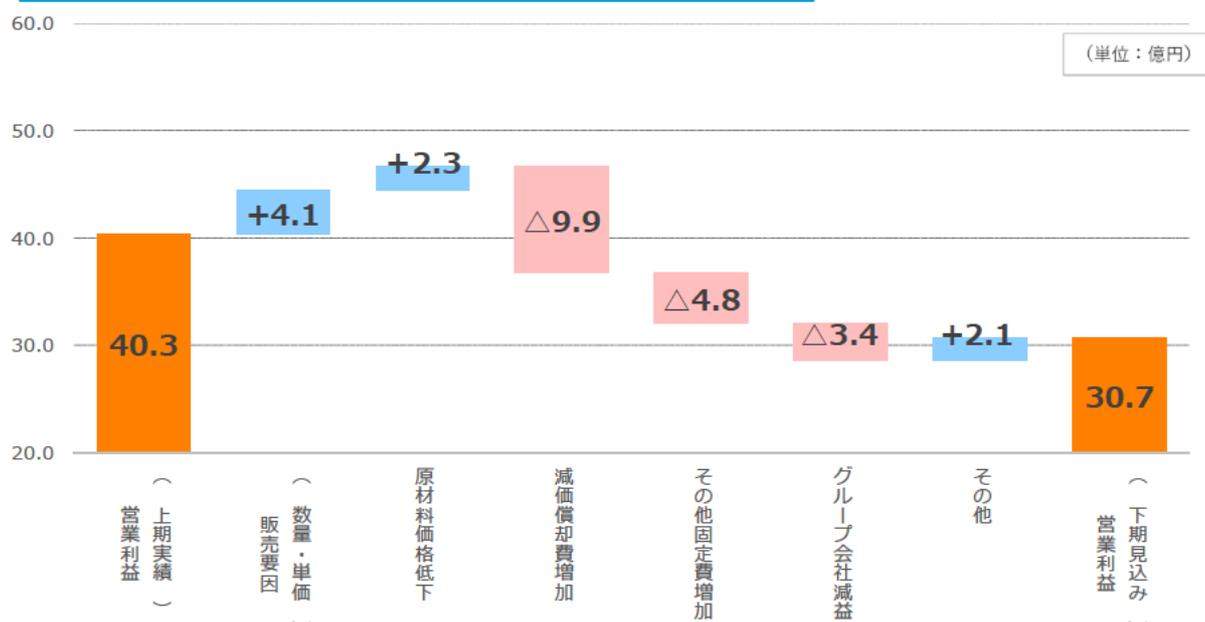
# セグメント別業績予想（連結） 上期下期比較

(単位：億円)

	売上高			営業利益		
	上期実績	下期見直し	差額	上期実績	下期見直し	差額
基礎	33	33	0	0	2	2
精密	199	207	7	33	25	△8
その他※	37	33	△3	6	3	△3
合計	270	274	4	40	30	△9
設備投資費	51	83	31			
減価償却費	24	34	9			
研究開発費	6	6	0			

※その他には、鉄系事業、商事事業、設備事業および連結調整を含みます。

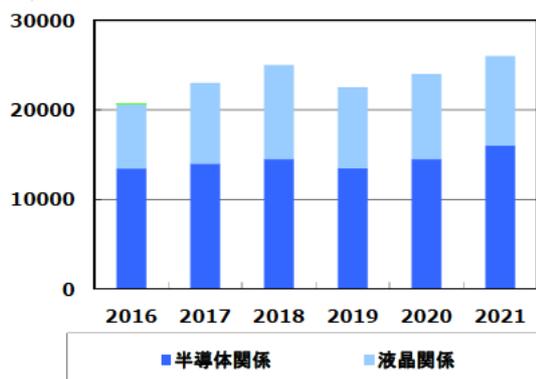
## 連結営業利益差異分析(上期実績 対 下期見直し)



## – 主な製品の見通し – 三フッ化窒素 (NF<sub>3</sub>)

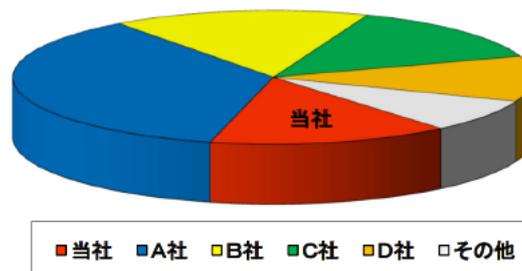
- 半導体・液晶製造プラズマCVD装置のチャンバークリーニングガス
- 製造能力 3,700t/年

【需要動向 (2019年度以降は予想)】



【現在のシェア予想】

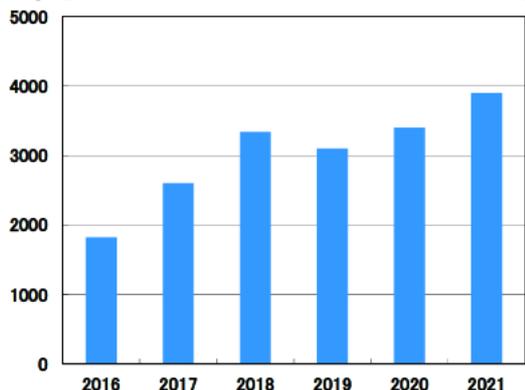
当社シェアは2割弱



## – 主な製品の見通し – 六フッ化タンゲステン(WF<sub>6</sub>)

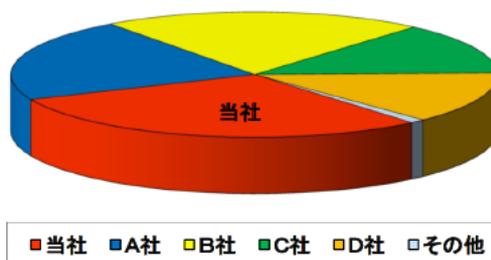
- 半導体用配線材料ガス。
- 生産能力720t/年 (2016.11) ⇒ 910t/年 (2018.08) ⇒ 1,400t/年 (現在)

【需要動向 (2019年度以降は予想)】



【現在のシェア予想】

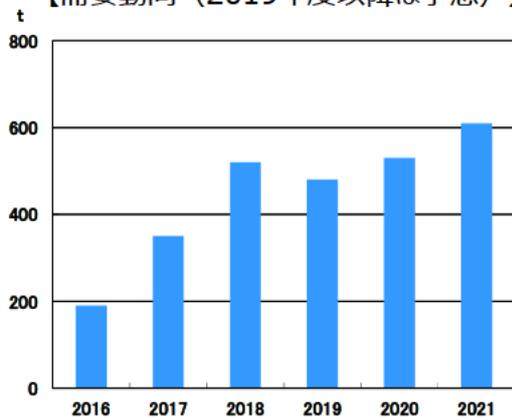
当社シェアは約3割



## －主な製品の見通し－ヘキサフルオロ-1,3-ブタジエン(C<sub>4</sub>F<sub>6</sub>)

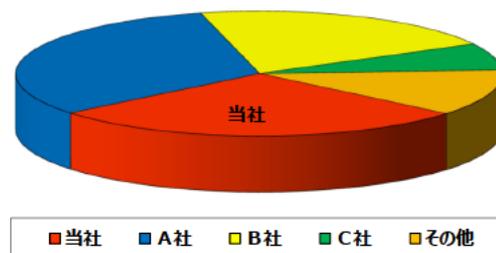
- 半導体用エッチングガス。
- 製造能力 125t/年 ⇒ 160t/年 (2018.12) ⇒ 260t/年 (2019.12予定)

【需要動向 (2019年度以降は予想)】



【現在のシェア予想】

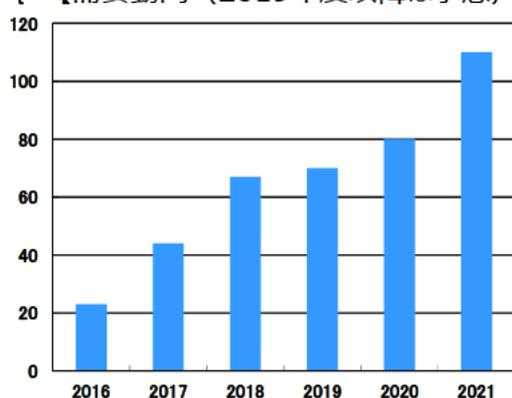
当社シェアは約 3 割



## －主な製品の見通し－硫化カルボニル(COS)

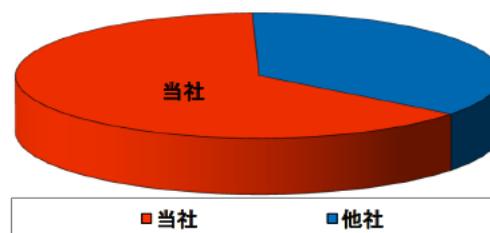
- 半導体用エッチングガス。
- 製造能力 40t/年 ⇒ 80t/年 (現在)

【需要動向 (2019年度以降は予想)】



【現在のシェア予想】

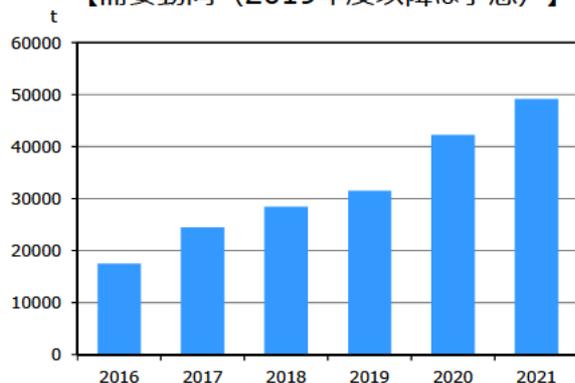
当社シェアは 6 割以上



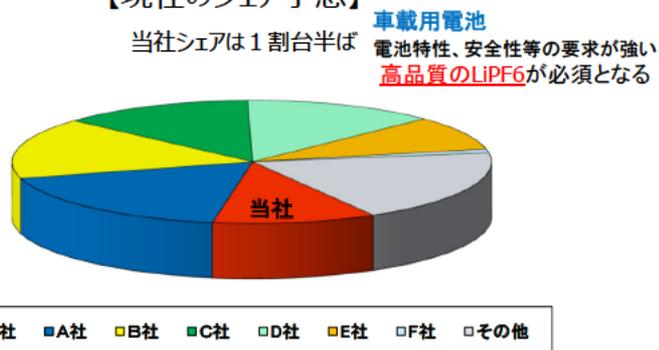
## －主な製品の見通し－ 六フッ化リン酸リチウム（LiPF<sub>6</sub>）

- リチウムイオン二次電池の材料である電解質
- E V等の車載向け需要が本格化
- 現在の製造能力は5,400 t/年

【需要動向（2019年度以降は予想）】



【現在のシェア予想】



## 中国生産拠点設立

- |         |                          |
|---------|--------------------------|
| ①名称     | 宣城科地克化工科技有限公司（仮称）        |
| ②所在地    | 中華人民共和国安徽省宣城市            |
| ③事業内容   | 半導体・液晶用特殊ガス類の製造・販売       |
| ④設立時資本金 | 1,740万米ドル（約19億円）         |
| ⑤設立年月日  | 2019年12月（予定）※当局承認後設立     |
| ⑥出資比率   | 当社 95% 杭州東旺工程管理諮詢有限公司 5% |

## 当社技術と事業方向性

### ■FUTURE

環境・エネルギー分野

電子・情報通信分野

ライフサイエンス・ヘルスケア分野



25

## 注意事項

- 本資料は、金融商品取引法等のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 本資料の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって予想数値と異なります。